

正式様式 / 公開用の架空記載例

農作物盗難対策 農地防犯調査報告書

収穫期の現況、管理予定、要確認記録を照合

REPORT NO.

EFR-AS-2026-003

CLIENT

〇〇農園 御中（架空）

PERIOD

2026.08.18 / 09.01



収穫前の農地と周辺状況

PHOTO / SAMPLE

越後フィールドリサーチ

FIELD RESEARCH REPORT

注意：場所、日時、数値、結果は説明用に設定した架空の内容です。

確認できた事実と優先対応

管理予定と照合した26件の記録から、予定にない要確認記録3件を抽出しました。うち2件は同日の作物列の状態変化と時間的に近く、管理方法の見直しを優先する結果です。

CHECKED RECORDS

26件

管理予定と照合した記録

REVIEW ITEMS

3件

管理責任者へ確認した記録

FIELD CHANGES

2箇所

基準写真との差分を確認

今回わかったこと

01 管理予定との照合 26件のうち23件は作業予定と一致し、3件を要確認として管理責任者へ切り分けました。

02 状態変化との関係 要確認記録3件のうち2件は、同日に確認した作物列の欠損と時間的に近い記録でした。因果関係は断定していません。

03 優先する改善 入場予定と収穫量の記録を一つにまとめ、境界表示と施錠管理を現場負担の少ない順に見直す必要があります。

調査目的

収穫前後の基準写真、所有者の作業予定、期間中の状態変化を照合し、防犯対策の優先順位を検討する。

調査条件と品質管理

結論だけでなく、何を基準に記録し、どこまで確認できたかを残します。公開版では安全とプライバシーに関わる運用情報を省略しています。

調査目的	収穫期の現況、管理予定、状態変化、要確認記録を整理
調査期間	2026.08.18 16:00 から 09.01 08:00
照合資料	作業予定、入場予定、収穫予定、開始時の基準写真
判定区分	予定一致、要確認、状態変化、判定保留
現地確認	開始時、中間、終了時に作物列と周辺の外観を比較
公開範囲	機材、台数、位置、画角、通知構成、追跡方法をすべて省略

判定とレビューの手順

01 基準を準備 日程、予定、開始時写真など照合に使う資料を確認。	02 記録を分類 事実、予定一致、要確認、判定保留へ区分。	03 差分を照合 時刻、現地変化、管理記録を突き合わせ。	04 所見を作成 断定できない点と次の確認方法を明記。
---	-------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------

公開版では具体的な機材構成、設置位置、通知方法、人物が識別できる画像を掲載していません。

代表記録と判定根拠

時系列に並べ、確認できた事実と管理資料との照合結果を分けて記載します。人物の身元や意図は記録だけで断定しません。



代表写真 / 公開用イメージ

REVIEW NOTE

管理予定との照合

26件のうち23件は作業予定と一致し、3件を要確認として管理責任者へ切り分けました。

日付	時刻	区分	記録内容
08/20	05:46	予定一致	登録済みの収穫作業と照合。状態変化も予定範囲内。
08/22	21:18	要確認	作業予定にない記録。人物や目的は断定せず管理者へ照会。
08/23	06:35	状態変化	基準写真と比較し、作物列の一部に欠損を確認。数量を記録。
08/26	20:57	要確認	予定外の記録を抽出。同日の収穫台帳と一致せず。
08/27	07:10	状態変化	前日の基準写真との差分を確認。原因は判定保留。
08/30	22:11	要確認	管理予定にない記録。公開版では詳細を省略。

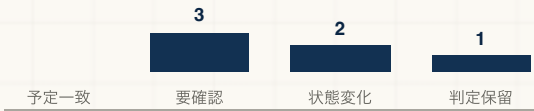
記録の取扱い

防犯効果に関わる具体的な機材、台数、位置、画角、通信方法、通知構成、追跡方法は公開しません。正式版も管理責任者と合意した取扱範囲で納品します。

記録から次の行動へ

管理予定と照合した26件の記録から、予定にない要確認記録3件を抽出しました。うち2件は同日の作物列の状態変化と時間的に近く、管理方法の見直しを優先する結果です。

管理記録の照合結果



分析所見

- | | | |
|----|-----------------|--|
| 01 | 管理予定との照合 | 26件のうち23件は作業予定と一致し、3件を要確認として管理責任者へ切り分けました。 |
| 02 | 状態変化との関係 | 要確認記録3件のうち2件は、同日に確認した作物列の欠損と時間的に近い記録でした。因果関係は断定していません。 |
| 03 | 優先する改善 | 入場予定と収穫量の記録を一つにまとめ、境界表示と施錠管理を現場負担の少ない順に見直す必要があります。 |

推奨する対応

- | | | |
|----|-----------------|--|
| 01 | 入場予定を一元化 | 家族、従業員、委託先の入場予定を同じ様式へまとめ、要確認記録との照合を容易にします。 |
|----|-----------------|--|

- | | | |
|----|-----------------|---|
| 02 | 収穫量を日次記録 | 品目、区画、収穫量、保管場所を日ごとに残し、状態変化と在庫差を早く確認できるようにします。 |
|----|-----------------|---|

- | | | |
|----|-------------------|---|
| 03 | 境界と管理方法を確認 | 現地負担と近隣への配慮を踏まえ、境界表示、出入口、保管、施錠などを専門事業者と検討します。 |
|----|-------------------|---|

- | | | |
|----|------------------|---------------------------------------|
| 04 | 被害時は専門窓口へ | 被害が疑われる場合は現場を保全し、記録を持って警察や関係窓口へ相談します。 |
|----|------------------|---------------------------------------|

調査の限界

- 本調査は警備、常時監視、緊急駆け付けではありません。
- 盗難の完全防止、人物の特定、犯罪の成立を保証または断定するものではありません。
- 記録外の範囲や期間、天候、遮蔽物などにより確認できない事実があります。